

町のうごき 広報

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038

町のうごき	
本籍数	4,517
本籍人口	14,815
世帯数	3,444
住民登録人口	13,622
内 男女	6,569 7,053
11月1日現在	

モダン スクール 誕生

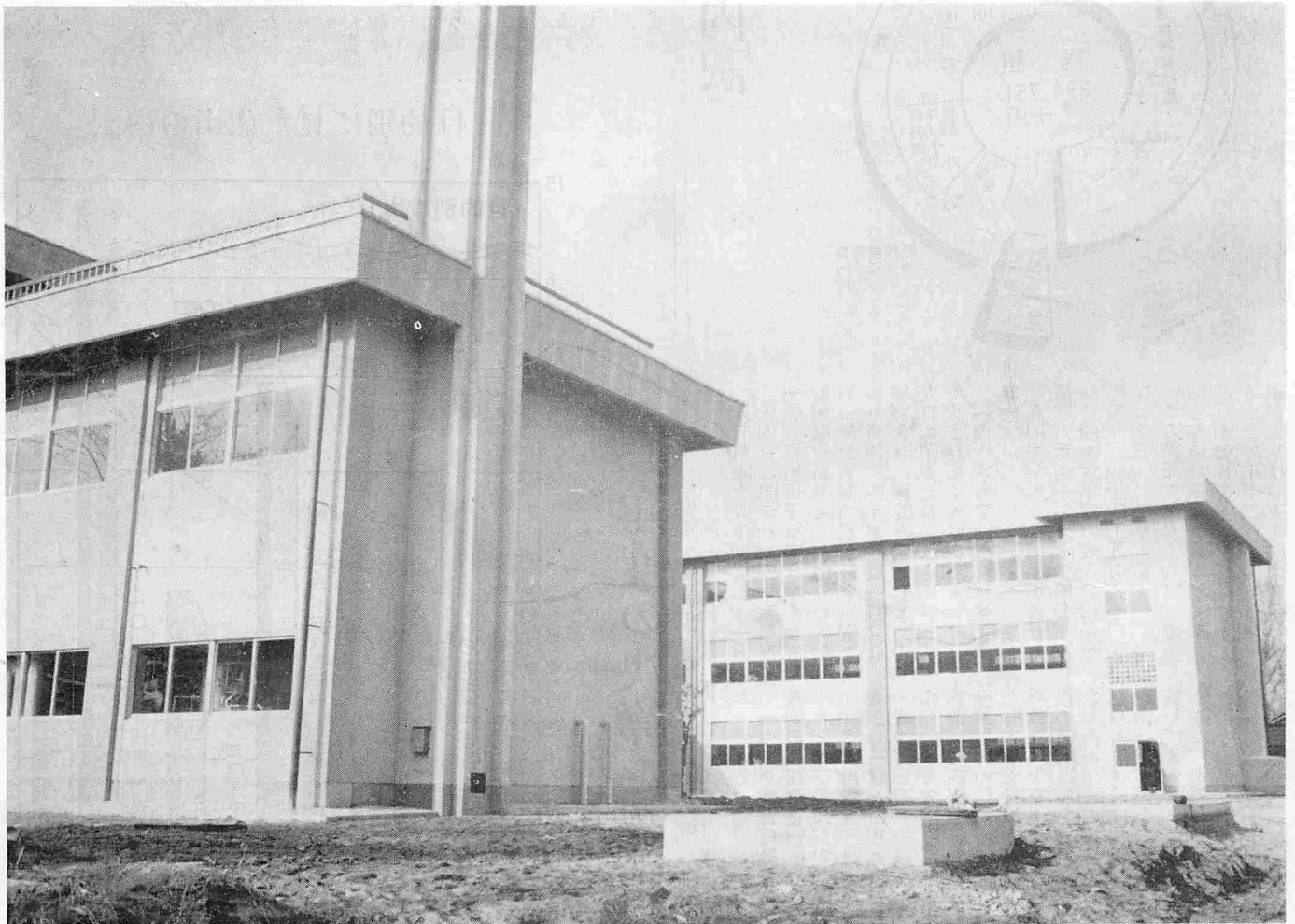
天王小二期工事11月20日に完成

あとは体育館完成を待つばかり

ことし五月から工事に着手していた天王小学校改築第二期分の特別教室棟と普通教室棟が十一月二十日に完成。一、二年生もま新しい教室に移り、全学級が新教室で元気に勉強している。

鏡のように光るフロア。教室の四方にはりめぐらされたダークグリーン色の添付ボード。何もかも新しいものばかり。子どもたちの勉強にも一段と熱が入る。あとは、来年度予定されている三期工事の屋内体育館の完成を待つばかりとなった。

この二期工事に要した費用は一億四千万円。面積は二千五百七平方メートルで、特別教室棟の一階には保健室、用務員室、ポイラー室、二階が音楽室、図書室、工作室、三階が視聴覚室会議室、展示室、教材室の十室があり、普通教室棟は一階と二階合わせて七教室、三階には理



▲完成した第2期工事、手前が特別教室棟、向こう側普通教室棟

町の金は使われた

45年度決算報告

一般会計

昭和四十五年度一般会計の当初予算額は、三億一千四百八十四万七千円であったが、その後八千四百七十一万五千円が補正され、最終予算総額は三億九千九百五十六万二千円となった。

歳入は、収入済額が四億一千五百五十九万九千円、予算額に比較すると二千六百三十三万七千円の収入増で、これは町税、自動車取得税交付金、地方交付税などが大幅な伸びをしたためである。

また調定額からすると二百十六万円の収入未済額があるが、このうち町税が二百一十一万五千円を占めている。

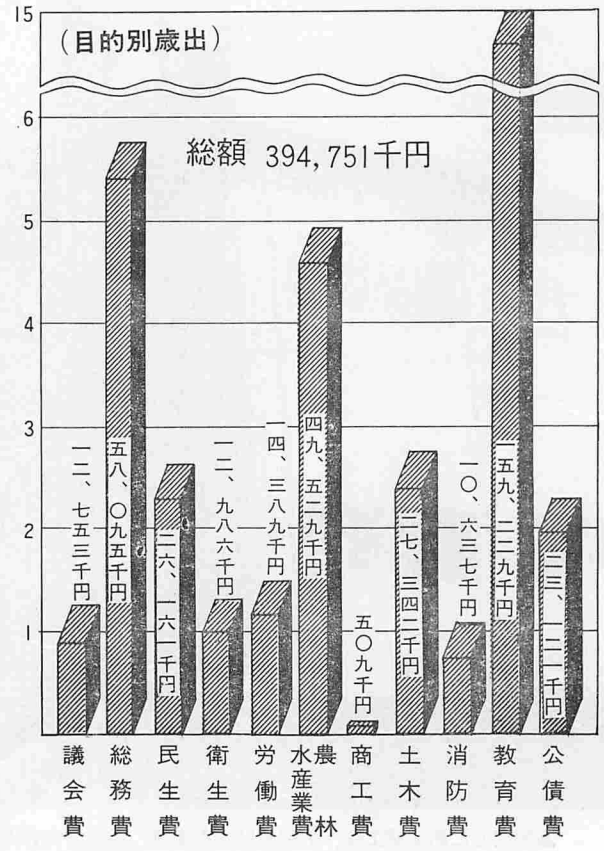
四十五年度の町税徴収率は、九十七%で、四十四年度の九十七%を○.七%下回った。

歳出は、支出済額が三億九千四百七十五万一千円、執行率は九十八%八%となっており、また、予算額に比較すると四百八十一万一千円の残額となっているが、主として経費節約によるものである。

歳出の総額からみると、投資約経費の比率が五十%で、四十四年度の三十六%一%からすると十三%九%の伸びを示している。これは、道路整備などの環境整備の充実が大きくクロウズアップされる。

このように多額の金額を投じて、みなさんとともに「明るい住みよい町づくり」に努力していきます。

目的別に見た歳出の内訳



45年度の決算を認定

臨時町議会終わる

臨時町議会(十回)が十一月二十四日に開かれ、四十六年度一般会計補正予算案、中小企業振興融資あっせんに関する条例の一部改正案の二案件を原案どおり可決。四十五年度一般会計特別会計の決算を認定して二十九日に閉会した。

可決されたものは次のとおり。

【四十六年度一般会計補正予算】

今回、一般会計に補正された額は八百六十八万七千円、これで四十六年度の歳入歳出予算総額は、四億四千九百八千円となった。

この補正の主なものは、見玉地区農道の路盤改良、延長千二百八十七メートル、幅員五メートル分の七百二十一万五千円。東湖小学校、東側校舎腐朽カ所の修繕料二千一万三千円などと

【中小企業振興融資あっせん条例の一部改正】

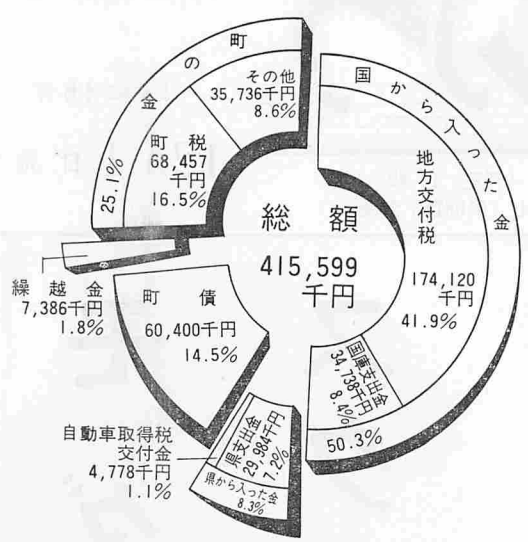
ことし三月に制定された中小企業振興融資あっせんに関する条例の一部が改正された。

まず、融資あっせんの決定では、いままでは、町、県信用保証協会、町商工会と町が指定する金融機関の代表で構成されていた「中小企業振興融資あっせん委員会」を廃止し、融資あっせんの可否は町長が行なうことになったが、この決定する時は、あらかじめ町商工会、県信用保証協会、関係金融機関の意見を聞いて決定することになった。

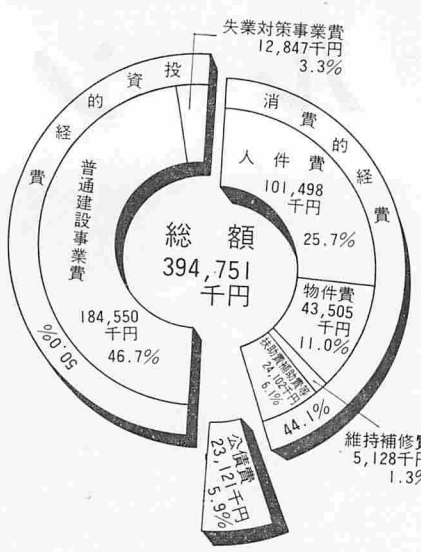
また、融資あっせんを受けるひとりの最高限度額が「五十万円」から「七十万円」に、貸し付け期間も「一年」から「二年以内」に改められた。

三億九千四百七十五万一千円の内訳

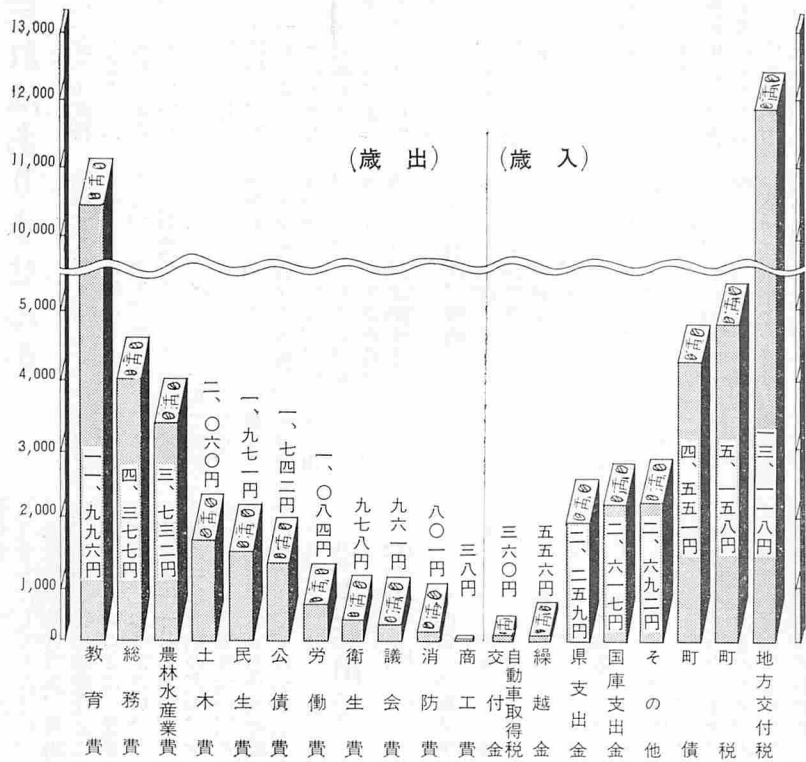
歳入



歳出



町民ひとり当りの額 13,273人 (住民登録人口)



四十五年度の 主な建設事業

福祉対策

多くの老人に「いいこの場」「集会場」として利用してもらうため、老人の家(ことぶき荘)建設に六十四万八千円。これは旧農林省、白かば寮(三百五十三平方m)の内部を改装したものである。

子どもたちの健全な遊び場をつくるため、二田児童館建設に二百四十八万円。木造平家建てで、面積は百十七・七二平方m。

消防施設の整備を図るため

道路整備

大崎地区農道整備に二千五百三十二万円。延長千四百四十八m。

渋谷地区農道整備に六百八十四万一千円。延長七百五十五m。

棒沼線舗装工事に四百五十五万円。延長六百七十六・五m。

二田追分線舗装工事に七百二十五万円。延長六千m。

上出戸線舗装工事に四百五十万九千円。延長八百三十二m。

教育施設

天王小改築第一期工事に八千七百九十八万円。鉄筋造り三階建てで、面積は二千二百八十八平方m。

天王小学校舎改築のための屋内運動場仕切り工事として二百二十万六千円。

東湖小プール建設に六百七十四万四千円。鉄筋コンクリート造りで、水面積は二百九十五平方m。

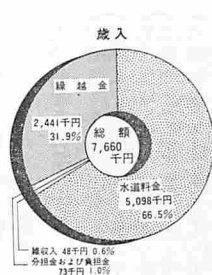
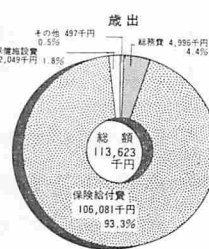
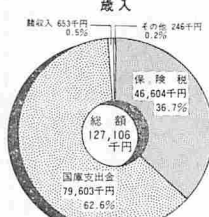
産業

秋田セイコー電気(株)の工場建設に八百十万円。鉄骨スレート造り平家建てで、面積は工場三百三十八・八七平方m。ポイラー室二十四・五九平方m。

国保特別会計

国保の収支は、歳入一億二千七百六十六万六千円、歳出一億一千三百六十二万三千円、差し引き一千三百三十四万八千三百円の黒字となった。

年間被保険者ひとり当たり費用額は、一万二千九百八十三円で四十四年度の一万五千三百四十四円を二十四百四十九円上回っており、医療費の増加が原因となった。



育英会設立にまい進

業務開始は47年4月を目的

本町では、町制施行二十周年を機に、かねてからの懸案であった育英会を来年度四月を目的に設立しようと、その発起人会(会長藤原慶三郎)を結成、ただいま会員を募集し、設立にまい進している。

これは、経済的環境にめぐまれないため、進学を断念している方々に愛の手を差し伸べようというものである。

町でも「町づくりの根源は人づくりから」を目標に、いままでも重点施策のひとつとして教育振興には、特に力を入れてきたが、同会では「せつかくの才能にめぐまれないが経済的事情で進学できず、個性と実力を発揮できないでいる人がおり社会福祉と人間能力開発のためひとりの不幸、不遇も見がさないでいく」という方針を固めている。

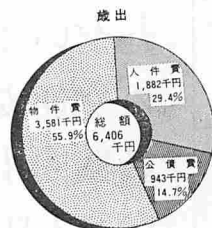
町では、これに対処するため国の負担金、補助金などの増額とともに国保税の収納に力を注ぐ方針である。

簡易水道特別会計

簡易水道の収支は、歳入七百六十六万円、歳出六百四十四万六千円を差し引き百二十五万四千円の黒字となった。

五年年賦
。大学生卒業後一年据え置き六年年賦

●方法―元金の均等月賦方式、年賦



無料相談所を開設

秋田人権擁護委員協議会と地方事務局では、本町民を対象に十二月十三日(月)午前十時から午後三時まで、町公民館で人権、法律関係の「無料相談所」を開設することになりました。

基本的人権とは、私たちが生まれながらに持つ権利であって、侵すことができない永久の権利として与えられているものです。いままでも、私的制裁強制圧迫、名誉信用など数多くの相談がありました。

他人の人権を尊重しつつ自分自身の人権を守るため、もし人権が侵されるようなことがありましたら、どしどし相談してください。当日は、専門の相談員と本町の人権擁護員三名が相談にあたります。

人権・法律

【貸与の対象】
資格―天王町民として二年以上居住している者。
。学校種別―高校生、大学生(公私立の区別なし)
。人員―毎年、高校生十名以内、大学生三名以内で卒業後の居住条件は問いません。

【貸与の金額】
。高校生―月額五千元以内
。大学生―月額一万元以内

【返済期間と方法】
期間
。高校生―卒業後一年据え置き

